

南米の地で鬼剣舞継承へ

岩崎鬼剣舞保存会 師匠

八重樫 正義さん

八重樫さん(60歳・和賀町岩崎)は、長年にわたりパラグアイで鬼剣舞の継承支援に尽力したことから、同国ピラポ岩手県人会から感謝状を贈られました。

1936年から日本人の移住が行われている同国では、イグアス市、ピラポ市、アスンシオン市の3都市で岩手県人会が設立されています。

八重樫さんがパラグアイを訪れるきっかけとなったのは、90年にピラポ市で行われた記念式典に出席した当時の岩崎鬼剣舞後援会長照井幸喜さんの勧めでした。式典で披露された鬼剣舞を見た照井さんは、正しい踊りの継承のために直接指導する必要性を感じ、岩崎鬼剣舞保存会に同国訪問を提案。翌91年、イグアス居住地入植30周年記念式典に合わせ、同保存会から八重樫さんを含む3人が同国に渡る事になりました。1回の訪問で



は片道30時間をかけて渡航し、約20日間滞在。22年間で5回訪問し、鬼剣舞継承を支援しました。1回の訪問で数百km離れた3都市を巡ったこともあったそうです。指導の対象は主に中学生と高校生。訪問を振り返り「徐々に上達しているし、何より鬼剣舞を続けてくれていることがうれしい」と目を細めます。

しかし、現地では指導を受けた子どもたちが就職などを

機に地元を離れることが多い

ため、次の世代に踊りが伝わりづらなのが現状。正しい踊りの定着のためには、今後も直接指導する必要があると感じています。「若者にも現地に行って広大な世界観を感じてほしい。ただ踊りに行くのではなく、現地の人と触れ合うことで心に強く残ると思う」と話す八重樫さん。今後とも国内外での鬼剣舞継承に意欲を見せています。

〇内小学校3・4年

11月27日 #116

☆どんなクラスですか？

- ・楽しくて明るいクラス(里桜)
- ・協力しあい仲が良い(啓太・紗季)
- ・みんな元気で助け合うクラス(花菜実・結羽)
- ・元気にあいさつができる(凜)
- ・みんなで助けあうクラス(悠斗)
- ・元気いっぱいなクラス(大地)



はんよう ひでき
半揚 秀樹 先生

☆児童たちへのメッセージ

毎週レク係が中心になって、みんなで一緒に遊んでいますね。また、困っている人には親切に声をかけてくれますね。これからも仲良く優しい心の持ち主でいてください。

みんなの広場

あなたもこのページに登場しませんか？

各コーナーにご協力いただける人(自薦・他薦)を募集しています。広聴広報課広報係までお問い合わせください。☎72-8230



詩歌倶楽部

176

|| 中高生の詩歌 ||

初雪が朝日に光り金剛石

千葉 吏央那

いわし雲海のいわしを見下ろせり

佐藤 乃愛

一玉のすいかを割って夏きたり

梅木 凜佳子

寒空に窓をたたいた秋の風

川村 朋新
(北上北中学校三年)

※掲載した作品は、日本現代詩歌文学館内で展示しています。

和賀 柚梨 ちゃん

平成26年11月11日生まれ
(相去町)

お父さん 和賀 勝さん
お母さん 裕香子さん

1歳になる柚梨、よく食べてたくさん遊んでどんどん成長していくね。毎日、幸せをありがとう！

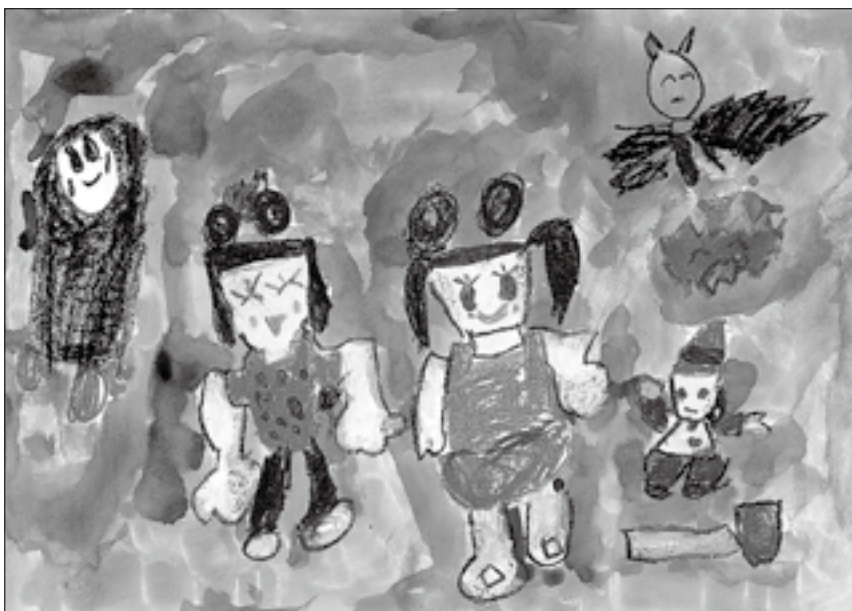


岩澤 大成 くん

平成25年5月14日生まれ
平成27年5月7日生まれ
(和賀町長沼)

お父さん 岩澤 伸悟さん
お母さん 紗友美さん

兄弟明るく立派な人に育ってね。そしていつでも支え合っている2人でいてね。



ハロウィンパレードをした時の絵を描きました。ミッキーマウスとミニーマウスに仮装して、とっても楽しかったよ。

今月のアーティスト

210



武田 莉ちゃん

(いわさき認定こども園・5歳)